

# iFree 全世界株式 ESGリーダーズ・インデックス

&lt;3470&gt;

追加型投信／内外／株式／インデックス型  
日経新聞掲載名：iF全ESG

第1期 2023年4月10日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（円ベース）の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末	基準価額	10,647円
	純資産総額	163百万円
第1期	騰落率	6.5%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0347020230410◇

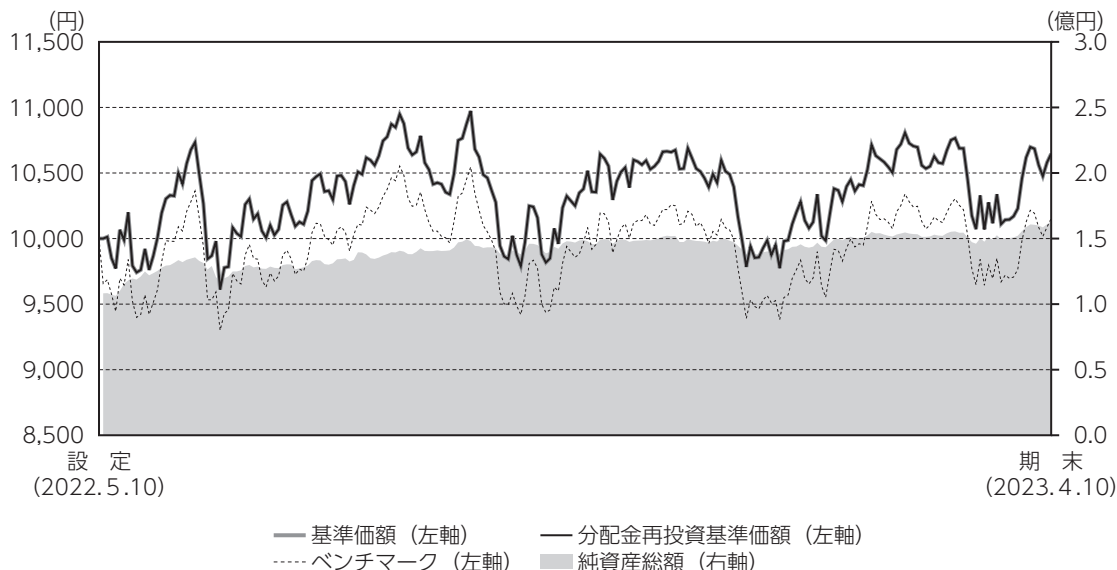
「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークはMSCI ACWI ESG Leaders指数（円ベース）（※配当なし）です。

### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：10,647円（分配金0円）

騰落率：6.5%（分配金込み）

### ■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をベンチマークに連動させることをめざした運用を行った結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.5.10~2023.4.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.192%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,339円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.091)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.081)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.020)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.033	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(1)	(0.010)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投 資 証 券)	(2)	(0.022)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	10	0.097	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(6)	(0.055)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	33	0.322	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

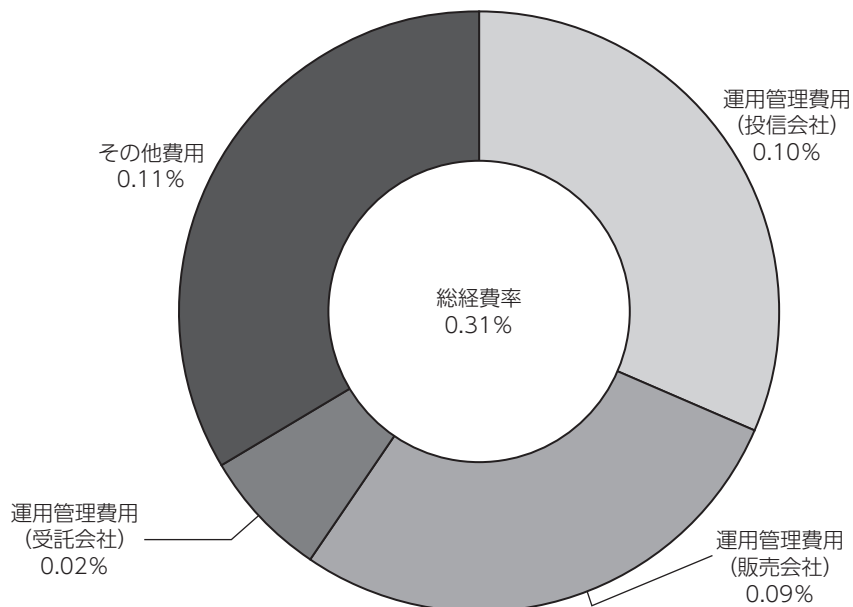
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.31%です。

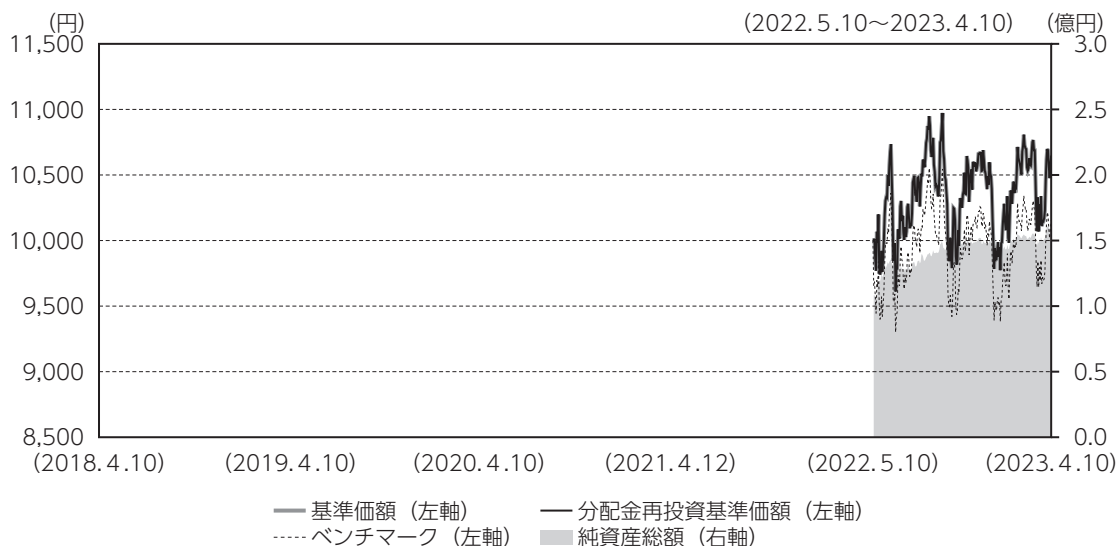


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2022年5月10日の前営業日を10,000として指数化したものです。

		2022年5月10日 設定	2023年4月10日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,647
分配金(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.5
MSCI ACWI ESG Leaders指数(円ベース) (※配当なし) 騰落率	(%)	—	1.5
純資産総額	(百万円)	108	163

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI ACWI ESG Leaders指数(円ベース)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCI ACWI ESG Leaders指数(米ドルベース)をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI ACWI ESG Leaders指数(米ドルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。  
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2022.5.10~2023.4.10)

### 海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、2022年6月にFOMC（米国連邦公開市場委員会）において0.75%ポイントの大幅利上げが行われるとの観測が高まったことで、金融引き締めによる欧米景気への悪影響が懸念され、下落しました。7月中旬には米国の利上げペース鈍化の可能性が意識されて上昇しましたが、8月以降はFRB（米国連邦準備制度理事会）議長講演において利上げ継続姿勢が強調されたことへの懸念から下落しました。10月以降は、英国政府が大規模減税策のほぼすべての撤回を表明したことやFRBが今後利上げ幅を縮小させるのではないかと期待を背景に上昇しました。2023年2月に入ると、米国の金融引き締めや米中対立への警戒感を背景に、下落基調となりました。また、複数の米国の地方銀行の経営破綻やスイスの金融大手の株価急落により信用不安が高まり、3月半ばにかけて下落しました。その後は、経営破綻した米銀の預金保護、FRBによる金融機関への流動性供給、スイスの金融会社の救済合併の決定などにより、信用不安が後退し反発しました。

### 為替相場

為替相場は円安となりました。

対円為替相場は、当作成期首よりインフレ期待の上昇などから米国金利が上昇したため、米ドル円は上昇（円安）しました。また、世界的に利上げ観測が高まっている一方で、日本の金融政策が相対的に緩和的であったことなどから、米ドル以外の通貨も対円でおおむね上昇しました。

## ポートフォリオについて

(2022.5.10~2023.4.10)

### 当ファンド

「全世界株式 E S G インデックスマザーファンド」の受益証券への投資をほぼ100%行いました。

### 全世界株式 E S G インデックスマザーファンド

株式組入比率（DR（預託証券）、ETF（上場投資信託証券）、株価指数先物を含む。）は、当作成期を通じて原則として100%前後で運用を行いました。

ポートフォリオ構築にあたっては、日本を含む世界の株価指数との連動をめざすETFを組み入れることにより、ベンチマークとの連動性を維持するような運用を行いました。また、効率性の観点から株価指数先物取引も利用しました。

\* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

組入ファンド	ベンチマーク
全世界株式 E S G インデックスマザーファンド	MSCI ACWI ESG Leaders指数（円ベース）（※配当なし）

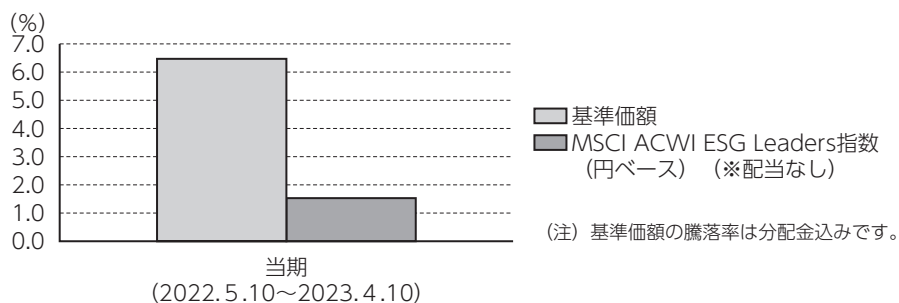
## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は1.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は6.5%となりました。

ファンドには間接的に保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことが、かい離要因となりました。

また、保管費用、運用管理費用等のコスト負担、実質的な株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、ベンチマークとファンドの為替評価基準のずれも、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\*ベンチマークはMSCI ACWI ESG Leaders指数 (円ベース) (※配当なし) です。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年5月10日 ～2023年4月10日	
当期分配金（税込み）	（円）	－
対基準価額比率	（％）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	647

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

主として「全世界株式 E S G インデックスマザーファンド」の受益証券に投資します。

### 全世界株式 E S G インデックスマザーファンド

主として、日本を含む世界の株式（D R（預託証券）を含む。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行うことを基本とします。また、効率性の観点から日本を含む世界の株価指数との連動をめざす E T F（上場投資信託証券）や株価指数先物取引等にも投資します。



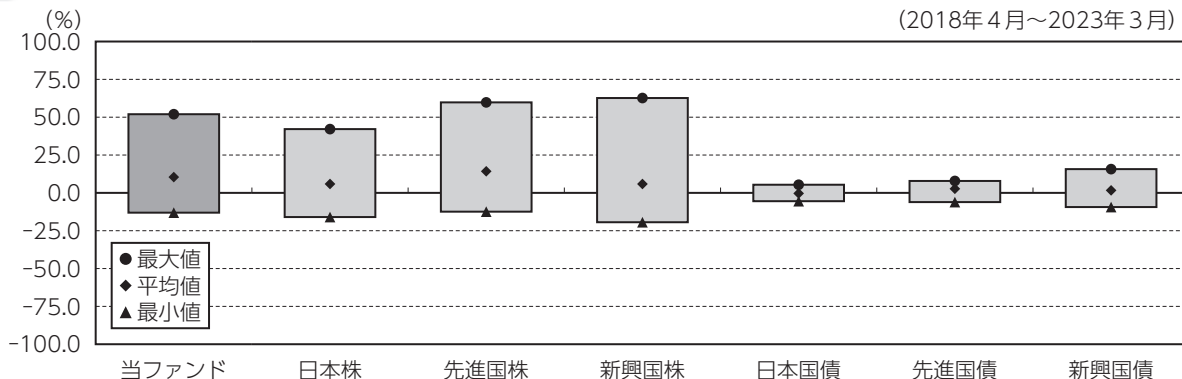


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2022年5月10日）	
運用方針	投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	全世界株式 E S G インデックス マザーファンドの受益証券
	全世界株式 E S G インデックス マザーファンド	イ. 日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 株価指数先物取引 ハ. 日本を含む世界の株価指数との連動をめざす E T F（上場投資信託証券）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。</p> <p>※効率性の観点から、日本を含む世界の株価指数との連動をめざす E T F（上場投資信託証券）に投資する場合があります。</p> <p>②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
平均値	10.4	5.9	14.3	5.9	△0.3	2.7	1.7
最小値	△13.1	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



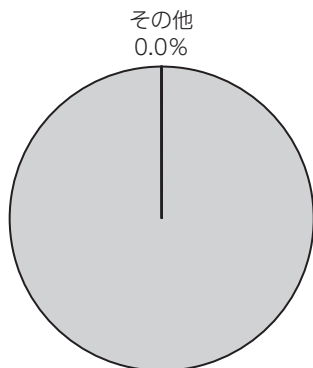
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

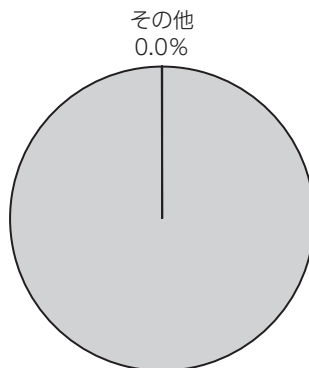
	比率
全世界株式 E S G インデックスマザーファンド	100.0%
その他	0.0

### 資産別配分



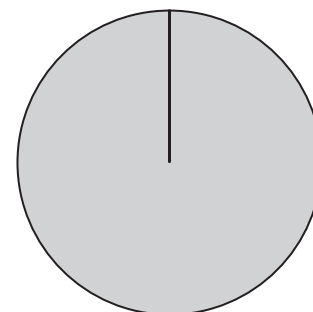
マザーファンド  
100.0%

### 国別配分



日本  
100.0%

### 通貨別配分



日本・円  
100.0%

(注1) 上記データは2023年4月10日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	当期末
	2023年4月10日
純資産総額	163,256,051円
受益権総口数	153,333,320口
1万口当り基準価額	10,647円

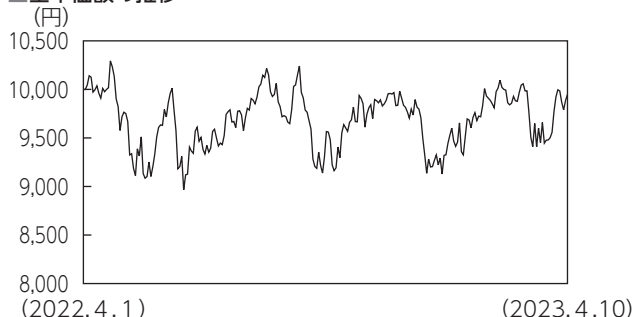
\* 当期中における追加設定元本額は120,517,747円、同解約元本額は75,416,354円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆全世界株式 E S G インデックスマザーファンド（作成対象期間 2022年4月1日～2023年4月10日）

## ■基準価額の推移



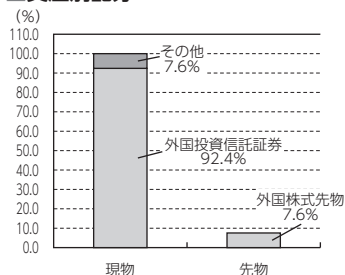
## ■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	5円
(先物・オプション)	(1)
(投資信託受益証券)	(0)
(投資証券)	(4)
有価証券取引税	0
(投資証券)	(0)
その他費用	9
(保管費用)	(4)
(その他)	(6)
合計	14

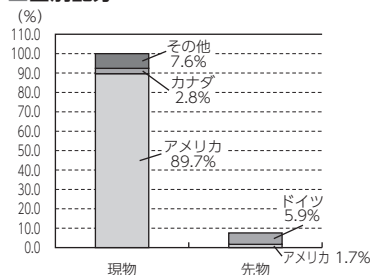
## ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
XTRACKERS MSCI USA ESG LEADERS EQU	アメリカ・ドル	55.3%
XTRACKERS MSCI EAFE ESG LEADERS EQ	アメリカ・ドル	24.5%
XTRACKERS MSCI EMERGING MARKETS ES	アメリカ・ドル	9.9%
MSCI WORLD INDEX JUN 23 買	アメリカ・ドル	5.9%
BMO MSCI CANADA ESG LEADERS INDEX	カナダ・ドル	2.8%
MSCI EMER MKT INDEX (ICE) JUN 23 買	アメリカ・ドル	1.7%
組入銘柄数	6銘柄 (先物含む)	

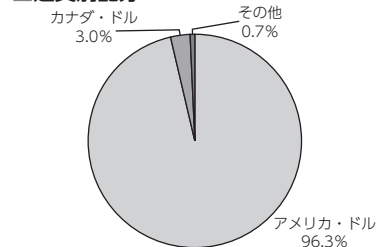
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。